

# 科学史技術史通信

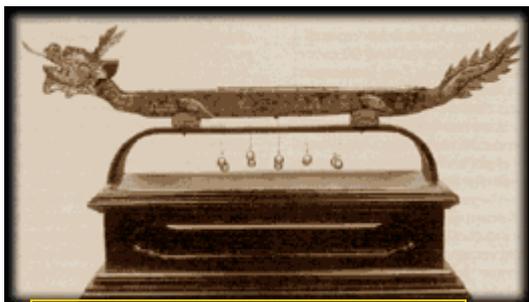
特定非営利活動法人  
科学史技術史研究所

田中・山崎・飯田・菊池・道家文庫

No.11  
2010.10.20

165-0027 東京都中野区野方 1丁目 2 9 番 1-B101

Website URL: <http://ihst.jp/> e-mail: [ihst@ihst.jp](mailto:ihst@ihst.jp)



中国の火時計:チューリヒ Bayer 時計博物館

## 追悼

### Prof.Dr.habil. Eberhard Wächtler 教授の 生涯と業績

木本 忠昭

2010年9月22日、元 Bergakademie Freiberg(現 TU Bergakademie Freiberg)教授の Eberhard Wächtler 博士が、癌のため永眠された。

氏は、Bergakademie Freiberg で、技術史・生産力史・鉱山史担当の教授として、西側との競争的關係の中での若いドイツ民主共和国建設過程で知的階層を育成するという社会的展開の過程にあって、約 300 人の大学院生に博士の学士を授与、約 30 人の教授資格者を育てた他、ICOHTEC(国際技術史委員会)の執行委員を務めるなど、ドイツ内外で教育界、研究会で大きな役割を果たした。論文・著作等は約 540 編を算える。

1974 年の東京・京都 科学史国際会議でドイツ民主共和国代表の一員として来日したほか、東京工業大学の客員研究員を務めるなど、日本にも少なからぬ知人ももち、独日交流にも貢献された。

晩年には、かつてはドレスデンの破壊の象徴であった、そして再建された現在ではドレスデンのシンボリック的存在である Frauenkirche の復興運動の中心的役割を担うなど、文化運動においても大きな功績を残した。

以下に氏を偲んで、その生涯と業績を紹介したい。

## 家族、そして少年期:ギムナジウム

まず、経歴から紹介したい。氏は、1929年5月10日、ドレスデン( Dresden A29,Hebbelstr.43 )に生まれた。ゲーテと同じく正午の12時頃だったと、半ば鼻高くて話してくれたのを思い出す。父親は安月給の共和国官吏で、母親が編物で家賃の一部を稼ぎ出す暮らしぶりであった。父親の収入は、戦争前で月195RMで、これから家賃49.9RMを払い、10歳で入学した Oberschule に20RMを要したという。当時映画館の入場料は、0.5~0.9RM、普通の市電が18~22ペニヒであったから、家計のやりくりは大変だった。土曜、日曜は別の仕事をして家計を支えざるをえなかった。

Wächtler 氏の音楽的才は人の知るところであるが、それは代々の家系に受け継がれたものようである。祖父は車大工であったが、子(氏の父親)を町楽器屋に通わせた。彼は、消防音楽隊を指揮し、自らもホルンやトロンボーンを吹き、フライベルク地域のダンスパーティーでは人気を取った奏者であったという。ところで子ども達は、音楽の授業を受けに、そこからドレスデンの教師まで往復30キロの道を歩いて通ったというが、音楽教師も、当時の宮廷音楽隊(現ザクセン・シュターツカペレ)関係者で優秀であった。



現代ドイツの代表的肖像画家の Ch.Wetzel による Wächtler 像。Wetzel 氏は、復興なったドレス

修練後は、軍の音楽隊に関係したり、30年代にはドレスデン少年合唱団でのレッスンを行ったりした。母親は、父が建設労働者で若くして結核で死亡したので、彼女には専門職業訓練

を受ける余裕がなく、ドレスデンたばこ産業や印刷業で稼がざるを得なかった。

さて、Wächtler 氏は、1939年にドレスデンーブラウエンの Oberschule に入ったが、周知のように第2次大戦が勃発、学校は兵舎となった。戦争拡大に従って、ナチの青少年組織化も進み、氏は1944年11月に空軍の文書運搬の仕事させられる。秘密文書を、ドレスデンから、ライプツヒ、ハレ、ハノーバー等々を経てオルデンブルクまで運んだ。途中イギリスの空爆にあうこともあった。ハノーバーやブレーメンは大きく破壊されたが、オルデンブルクは無傷だった。2、3日後再びドレスデンに帰り、学校にも戻った。そして、あの1945年が来る。

ケペニックの区裁判所で勤務していた父親は、音楽の才故に音楽隊のコントラバス奏者に誘われて、この頃はドレスデンの裁判所の守衛勤務に移っていた。

2 頁以下の内容は以下の通りです(全 10 頁)  
が、会員配布の印刷体でお読みいただけます。



BAFのかっ

ての学生達



「壁崩壊」後もしばらく残っていたチャーリー・ポイント近くの残存壁  
チャーリー・ポイントは分断時自動車での唯一の西ベルリン 通路



復興なった聖母教会 (Frauenkirche)



鋳夫をモデルにしたマイセン磁器  
:本書『銀の地』は、M.Bachmann,E.Waechter 編



2010 年 10 月 8 日埋葬:Borken 市からも参列



エルツゲビルグ・フロナウエル工場で田中夫妻、山崎・小野教授



かつての西独 Bochum から W.Weber 教授夫妻も参列



ドレスデン・プラーガー通りで十字架協会と市庁舎を背景に  
左から、小野・Wächtler、山崎教授

### ◆◆◆ 本研究所蔵書から ◆◆◆

尾佐竹猛編『明治文化の新研究』亜細亜  
書房, 昭和 19 年 3 月刊. から

恒川 清爾



1975. 5. 1 Freiberg でのメーデー:左より、Koenig教授夫妻、Katrin,  
Wächtler夫妻、右端Engelbart 講師